



若芽だより 特別号①

令和7年3月14日
名古屋市立道徳小学校

保護者の方におかれましては、12月末に依頼したアンケートにお答えいただき、ありがとうございました。79世帯（全体の29%）の家庭から回答をいただきました。その結果がまとまりましたので、以下のとおり報告させていただきます。

① 学校教育目標「つよく」より、「自分のよさに気付き、元気に過ごすことができる子どもの育成」について

	十分である	ほぼ十分ある	やや不十分である	不十分である
(1) 学校は、児童がお互いのよさに気付いたり、認め合ったりすることができるようにしている	26人 (33%)	47人 (60%)	5人 (6%)	1人 (1%)
(2) 学校は、児童が進んで運動をして、元気に過ごすことができるようにしている	32人 (40%)	44人 (56%)	3人 (4%)	0人
(3) 学校は、児童が学校の決まりを守り、学校生活を送ることができるようにしている	27人 (34%)	49人 (62%)	2人 (3%)	1人 (1%)

② 学校教育目標「正しく」より、「友達の気持ちを考え、仲良くできる子どもの育成」について

	十分である	ほぼ十分ある	やや不十分である	不十分である
(1) 学校は、児童が進んで挨拶を行うことができるようにしている	25人 (32%)	46人 (58%)	6人 (7%)	2人 (3%)
(2) 学校は、児童が交流活動（児童会活動・ペア活動）を通して、友達の気持ちを考えたり、仲良く活動を行ったりすることができるようにしている	31人 (39%)	47人 (60%)	0人	1人 (1%)
(3) 学校は、児童が困った友達がいたら優しく声を掛けたり、親切にしてくれた友達や周りの人にお礼を言ったりすることができるようにしている	22人 (28%)	52人 (66%)	4人 (5%)	1人 (1%)

③ 学校教育目標「しんけん」より、「仲間と共に行動し、自律して学び続ける子どもの育成」について

	十分である	ほぼ十分ある	やや不十分である	不十分である
(1) 学校は、児童がグループやペアで話し合いながら、学習に取り組むことができるようにしている	27人 (34%)	48人 (61%)	3人 (4%)	1人 (1%)
(2) 学校は、児童が学習内容を選んだり、決めたりして、学習に取り組むことができるようにしている	17人 (22%)	52人 (66%)	9人 (11%)	1人 (1%)
(3) 学校は、児童が授業の終わりに学んだ学習を振り返り、新たな課題を見付けようとするようにしている	16人 (20%)	41人 (52%)	18人 (23%)	4人 (5%)

その他の自由記述において、「ペア集会で他の学年と交流できることはとてもよい取組だと思う」「学校教育目標に向かって取り組んでいる子とそうでない子の差が激しいと思う」など貴重なご意見をいただきました。令和7年度も学校教育目標を達成するためにさまざま取組を行います。児童一人一人が、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、教職員全員で児童を育てていきたいと思ひます。